

令和2年度（2020年度）から使用する小学校用教科用図書

採 択 参 考 資 料

令 和 元 年 6 月

北 海 道 教 育 委 員 会

目 次

は し が き

国 語 国語 1～国語17

書 写 書写 1～書写18

社 会 社会 1～社会23

地 図 地図 1～地図12

算 数 算数 1～算数29

理 科 理科 1～理科24

生 活 生活 1～生活14

音 楽 音楽 1～音楽12

図画工作 図画工作 1～図画工作 8

家 庭 家庭 1～家庭 7

保 健 保健 1～保健18

外 国 語 外国語 1～外国語23

特別の教科 道徳 道徳 1～道徳33

は し が き

1 作成の趣旨

本資料は、北海道教育委員会が、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律182号）」第10条の規定により、北海道内の市町村教育委員会並びに国立及び私立の義務教育諸学校の校長が、令和2年度から使用する小学校用教科用図書の採択を行うに当たっての参考に供するため、「令和元年度北海道教科用図書選定審議会」の意見を求め、また、同審議会に置かれた調査員の調査研究に基づいて作成したものである。

2 調査の対象

本年度、北海道教育委員会に見本の送付があったのは、「小学校用教科書目録（平成32年度使用）」に登載された、13種目、60種で、種目ごとの内訳は次の表のとおりである。

種 目	種類数	点 数	種 目	種類数	点 数	種 目	種類数	点 数
国 語	4	4 4	理 科	6	2 4	保 健	5	1 0
書 写	5	3 0	生 活	8	1 6	外 国 語	7	1 5
社 会	3	1 4	音 楽	2	1 2	特別の教科 道徳	8	6 6
地 図	2	2	図画工作	2	1 2	合 計	6 0	3 0 5
算 数	6	5 8	家 庭	2	2			

3 資料の内容

本資料は、各教科書見本の特色や違いが明らかになるよう学習指導要領の目標や内容等に基づく調査研究を行い、次のような内容となっている。様式2～4については、発行者の番号順に整理した。

① 様式1

学習指導要領に示されている各教科の目標及び学年・領域等の目標等を記載した。

② 様式2

各教科書見本の特徴について、別に示す「調査研究の観点」に基づいて文章で記述した。

③ 様式3

学習指導要領に示されている各教科の目標等を踏まえ、各教科、領域等の特性に応じて、客観的な数値データを示す調査項目とその主な理由を記述した。

④ 様式 4

様式 3 で示した項目を数値で記載した。

⑤ 別記

様式 4 で示した数値のうち、その根拠として示すことのできる内容を記載した。

4 資料活用の留意事項

○ 様式 2 と様式 4 は、補完の関係にある。

○ 様式 3 における調査項目は、数値データとして示すことが可能なもののうち、必要と思われるものを記述した。

○ 様式 4 については、各採択地区において学習指導要領の目標や内容等を踏まえ、それぞれの地域の実態などに応じて、種目ごとに 1 種を決定する際の参考とするため、客観的な数値によるデータ化を図ることにより各教科書の特色や違いを明らかにしたものであり、数値の多寡が教科書の優劣を示すものではない。

○ 本資料のほか、「教科書編修趣意書」及び「教科書見本」等を参考にし、十分に調査研究をされたい。

【調査研究の観点（様式2）】

令和2年度から使用する小学校用教科用図書調査研究の観点

1 「取扱内容」について

- (1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。
- (2) 知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているか。

2 「内容の構成・排列、分量等」について

- (1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか。
- (2) 内容の分量が、各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。

3 「使用上の配慮等」について

- (1) 児童の学習意欲を高める工夫がされているか。
- (2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- (3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。

4 「その他」について

上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。